

プライマリ・ケアにおける 健康の社会的決定要因の教育～現在とこれから

小曾根早知子 先生

(筑波大学医学医療系地域総合診療医学 講師)

令和6年2月13日(火) 18:30～20:30

ウェブセミナー

筑波大学の学生・教職員の皆様はオンサイト出席可能です

(筑波大学総合研究棟D棟1階116)

健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health; SDH) は近年広く注目されており、医師の卒前教育にも取り入れられています。今回は、SDHの概要および筑波大学医学類での地域実習を基盤としたSDH教育実践とその評価について紹介します。また、マクロレベルのSDHの一例として世界家庭医学会 (WONCA) での気候変動と健康に関する講演を紹介し、これからのプライマリ・ケア現場でのSDHに関する教育と実践について検討していきたいと思っております。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系地域総合診療医学 講師の小曾根早知子先生に「プライマリ・ケアにおける健康の社会的決定要因の教育～現在とこれから」の演題で、お話していただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、2月7日(水)までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部とアール医療専門職大学、茨城県理学療法士会の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 認定医1単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

また、フロンティア医科学の医科学セミナーⅣ (プライマリケア) の一部となっています。

【申し込みフォーム】

<https://forms.gle/CxxQfdobiAv7NdY39>

申し込みは
こちらから

